



日本遺産「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道」
日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

小浜西組
町並み協議会

町並み通信



発行責任者：中島 福則 2022 新春号 (vol.162)



令和4年の新しい年を迎えて

小浜西組町並み協議会 会長 中島 福則

小浜西組住民の皆様、また、関係各位におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

小浜西組では、茶屋町通りの整備工事が完成し、またその他の区では雨水溝整備も終わり、道路舗装を残すのみとなりました。三丁町の道は年末の大雪でも融雪設備のおかげで除雪の苦労がいらぬ状況でした。

さて、昨年はコロナ禍で感染症対策が求められ、区民の皆様および協議会役員の皆様とのコミュニケーションが取りづらい状況で、思うような活動が出来ない一年となってしまいました。

こうした中であっても、国、県、市の補助金を活用した建物修理、修景希望者は途切れることなく増加傾向にあります。建物所有者の意欲、行政の方々の熱意に感謝せずにはおれません。また、年末には、小浜西組の向かうべき方向性を再確認すべく、全住民に対し、アンケートを実施させていただいたところであり、今後の活動にも反映してまいりたいと考えています。

北陸新幹線、敦賀～金沢間の開業を2年後に控え、嶺南全域が連携して、スピード感をもって観光客を受け入れる対策を進めることが求められています。こうした中、小浜西組には、小浜の重要な観光資源としてその一翼を担う事が期待されています。

未だ、新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策で制限を受ける中ではありますが、西組協議会としては、地区内の自発的な活動や、公民館の街づくり協議会の活動に参加、協力するなど、地域の活性化や環境整備に住民の皆様と共に取り組むことにより、「住んでよし、訪れてよし」の町を目指したいと考えております。行政と住民、企業が協力して、地域の魅力アップと資源の活用を考え、地道に身近に出来ることから取り組み、西組地区を盛り上げていきたいと考えています。

今後も皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



西組お宅訪問 Vol.5

町家を改修して暮らしている方をご紹介します

佐野家 (浅間区)

1. 改装で工夫した点

三世代同居なので部屋割を工夫しました。また、町家は明かりが入りにくく、昼間でも暗いイメージがあるため、屋根にガラス瓦を入れ、玄関の上は吹き抜けにした。また収納が少なかつたため、地下に倉庫を作り、2階リビングの床下は一面収納庫としました。

2. 改装中に苦労したこと

補助金を頂いての改修のため、申請から施工まで時間がかかります。また工事にも現場合わせの工事が多く、期間もかなりかかりましたので、鹿島区の空家での仮住まいが1年以上かかりました。

3. 改装してよかったこと

改修前は天井が低く、圧迫感がありました。床を少し下げてもらい解消されました。

また、業者さんとしっかりお話することで、いたる所に創意工夫がされて、自慢の家になったと感謝しています。

4. 改修して気になったこと

地下倉庫を作りましたが、湿気が多くカビがつくため、入れるものが制限されます。もう少し工夫が必要でした。

5. これから改装する人へのアドバイス

時間はかかりますが補助金を有効利用すると、町並みに合わせながら、住みやすく改装できます。表は景観に沿っての改修ですが、内装は自由です。部屋割や床、天井と主な柱を残せば自由にできます。施工業者が町並み保存や建物の活かし方を理解しているか、初めにしっかり相談が必要です。



◀改修前
(外観)



▲改修前 (居間)



▲改修後 (居間)



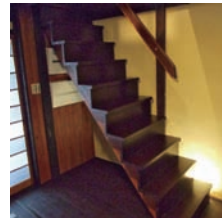
▲改修後 (外観)



▲改修前 (2階居間)



▲改修後 (2階居間)



▲改修後 (階段)



◀改修後
(玄関吹き抜け)

西組の改修物件や景観づくりに紹介したいお宅や景観はありませんか？
自薦他薦は問いません。広報委員までお知らせください。(担当馬場：☎50-1055)



**木造建築物管理の
ポイントとお知らせ**

第2弾

— 雪害と補償編 —

今回は雪害と補償編です。この季節は、屋根周り外壁周りの中でも特に雪の重みがかかりそうなところを注意して点検してみてください。

1. 屋根瓦のズレや割れ

台風の後と同様で、大雪の際など、雪の重みで瓦が割れてしまう可能性があります。

2. 垂木の折れ

軒先の雪を落すことで、垂木の負担を減らすことができます。



瓦のズレ



瓦の割れ



垂木の折れ

3. 雪下しについて

一般的に軒先や雨樋などを除けば、戸や窓の開閉に支障が出るなど、大雪による危険を感じた際以外は、危険な雪下ろし作業をする必要はありません。また、やむを得ず作業を行う場合は、複数名で行うか、業者に依頼しましょう。

4. 修理費用について

重伝建補助制度や景観形成補助制度は、申請から補助金が出ると決まるまで時間がかかります。雪害による瓦の破損や、漏水など緊急性の高い修理工事は、加入されている建物の保険（火災保険等）で補償を受けられる可能性があります。保険に加入している方は、補償内容を詳しく確認されると、万が一の際に、修繕費の負担を軽減できるかもしれません。



小浜市役所文化交流課 小浜西組町並み協議会建築委員会

文化庁調査官との意見交換会

11月30日（火）、若狭町熊川児童館にて令和3年度の意見交換会が開催されました。

参加者は小浜西組と熊川宿に加え、令和3年8月に重伝建に選定された南越前町今庄宿の三地区で、40余名でした。

開会挨拶：若狭熊川宿まちづくり特別委員会 宮本会長

講演：文化庁文化財第二課伝統的建造物群部門 村上玲奈文化財調査官

令和3年4月から重伝建担当になられた村上調査官から、「現地を訪問した際に面白いと思った各地の取り組み」を紹介いただきました。

●群馬県中之条町六合赤岩

建物を見に来た人をターゲットに建築に特化したリーフレットを作成。芸術祭なども開催しており、交通の便が良いとは言えないにも関わらず人が集まっている。

●青森県黒石市中町

重伝建×こけし（伝統工芸とのコラボレーション）
伝統工芸品であるこけしを町家の全面に付されたこみせに展示している。



● 山口県柳井市古市金屋

重伝建×金魚ちょうちん（民芸品とのコラボレーション）

軒先に民芸品の金魚ちょうちん（幕末に柳井の商人が青森県の金魚ねぶたにヒントを得て発案）をさげている。青森県弘前市の市指定文化財とコラボし、柳井の金魚ねぶたを展示するイベントも開催。（県をまたいだ重伝建のコラボは珍しい）

● 大分県日田市豆田町

重伝建×進撃の巨人（漫画家の出身地でのアニメとのコラボレーション）

● 宮崎県日向市美々津

重伝建×YouTube（DIY 動画のコラボレーション）

非特定物件を DIY でシェアハウスに改築、DIY 風景を配信（まちづくりの若者が発信）

● 北海道函館市元町末広町

ヘリテージマネージャー^(※1)の活用

市が保全調査を業務委託、復元図などを作成

大工、左官など建築業者向け文化財修理の講習会開催

● 宮崎県椎葉村十根川

保存会後継者づくりの取り組み。

保存会とは別に 20 代 30 代の若者が市の建物管理を業務委託

《伝建物の活用の例として》

● 群馬県桐生市桐生新町

重伝建×アパレル企業 織物工場跡地を刺繍工房兼店舗の活用

● 宮崎県日南市飫肥

重伝建×高級宿泊施設 保存保全のガイドラインを作成して修理活用

(※1) ヘリテージマネージャー…（地域歴史文化遺産保全活用推進員）地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のこと。

どれも創意工夫に富み、興味深い取り組みでした。また、重伝建の取り組み例として、伝建物に取り付ける各地のプレートを掲示いただきました。

その後福井三地区の取り組みの発表があり、熊川宿からは空き家対策の取り組みとして、令和2年10月『空き家活用ガイド』、令和3年3月『熊川宿暮らしと出店ガイド』を発行した報告がありました。

閉会挨拶：小浜西組町並み協議会 中島会長

終始、和やか意見交換会でした。

小浜西組町並み協議会からの報告とお知らせ

小浜町並み保存資料館開館時間

12月から3月 10時～16時（火曜日休館）

小浜町並み保存資料館にて雛人形展

2月20日(日)～3月21日(月)（火曜日休館）

小浜西組の URL <http://obama-nishigumi.sakura.ne.jp/>



小浜西組
ホームページ



小浜西組

検索